

のほろべつ

市の人口

8月末現在

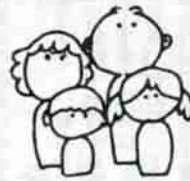
総人口 53,651 (144増)

男 26,717 (94増)

女 26,934 (50増)

世帯数 16,165 (63増)

() 内は前月との比較増減



若草幼稚園の運動会

元氣いっぱい 初めての運動会

スポーツには絶好の秋をむかえ市立幼稚園と富士幼稚園の運動会が九月十八日に行われました。

初めての運動会となった、若草幼稚園では、園児たちが両親や先生方の応援を受け、元氣いっぱいグラウンドを駆けまわっていました。

今年四月に開園したばかりの若草幼稚園が、初めて取り組む大きな行事とあって、先生と父母と園児たちが、一生懸命になって運営。幸い天気も薄曇りでスポーツ日和に恵まれ、紅白玉入れ、たるま運びなどのプログラムに楽しい一日を過ごしました。

一方、第二回目を迎えた富士幼稚園では、午前中に運動会を実施。両親が多く出場するプログラムを組み、おとうさん、できるかな？玉入れ、綱引きなど、園児、先生、父母が一体となった楽しいプログラムに歓声が渦巻いていました。

10.1 1977

第三回
定例市議会

地獄谷の
観測機器購入など
予算補正へ

スキーリフト料金改正などを審議

第三回定例市議会は、九月十九日から開催されました。今議会に提出された案件は、報告二件、水道事業会計の決算の認定、一般会計、国民健康保険特別会計をそれぞれ追加する予算補正、今年度から建設する婦人研修の家条例の制定、カルルススキー場スキーリフト使用料金の改正など条例の一部改正四件、任期満了にともなう収入役の選任など人事案件三件となっています。それでは主な内容についてお知らせいたします。

報告では、株式会社登別振興公社の第一期決算、第二期事業計画の報告と、昭和五十年年度登別市水道事業会計継続費精算書の報告です。

昭和五十一年度登別市水道事業会計決算の認定は、監査委員の意見を付けて議会の認定を求めました。

次に議案ですが、一般会計の補正予算案は総額四千七百十八万九千円の追加ですが、内容は、公共用地買収事業費（新川町三丁目二十番地一、原野八百四十四平方メートル）八百九十三万八千円、一般管理事務経費四百三十万五千円、一般管理事務経費四百三十万五千円、老人憩の家二重窓取付工事費に百五十万円、歩道舗装事業および改良事業に七十万円を追加するなど民生費に三百六十四万二千円、衛生費に四十万円、失業対策事業経費など労働費に百二十四万六千円。

西札内地区道営土壌侵蝕防止事



火山活動の観測体制の強化をはかることになった 登別温泉・地獄谷

業負担金三百十五万円、漁船用給油施設設置事業費補助金七十五万四千円など農林水産業費に五百八十二万円。

市道維持補修経費三百万円、沙見公園便所新設工事費四十万円など土木費に四百七十一万六千円。

登録温泉地獄谷の観測強化のため、観測機器購入設置費五百万円など消防費に五百二十三万六千円。

本年度五カ所に新設予定の婦人研修の家建設事業に五百万円を追加して総事業費四千九万円に、若草幼稚園周辺整備事業として敷地造成、物置設置、門、フェンスの工事費百六十五万円など教育費に千七百七十四万四千円をそれぞれ追加補正するもので、これらの財源は、交通安全対策特別交付金七十七万円、分担金三百十五万円、国庫支出金百六十八万四千円道支出金三百九十一万八千円、前年度繰越

金三千七百六十五万七千円、諸収入八万円を当てることにしています。

国民健康保険特別会計は、療養費の支給経費二百二十九万二千円、国庫支出金などの還付経費三百五十四万四千円をそれぞれ追加するものです。

条例の制定では、地域婦人の教養の向上と婦人の連帯感を深める施設として、今年度から建設する「婦人研修の家」の管理運営などを定める条例が提案されました。また、条例の一部改正ではカル

10月1日から

共同募金

しあわせでありたい、と願う心は、だれでも同じです。

しかし、世の中には、たとえは体の不自由な人や、独り暮らしのお年寄りのように、それを自分だけでは果せない人びとも残されています。

赤い羽根運動は、こうした人びとにすこしでも多くのおもいやりをお届けしようという、たすけあいの運動です。

物質的繁栄のなかで、失なわれつつある心の豊かさをとりもどし、あたたかい人間同志の触れ合いや心のつながりを求めて展開される本運動が、りっぱななみのりを結ぶことができますよう、皆様のお力

スキーリフト使用料金改正案

区分	人	
	大	小(中学生まで)
普通料金	1回につき 120円 (現行100円)	1回につき80円 (現行50円)
	11回分 1,200円 (現行1,000円)	11回分 800円 (現行500円)
特別料金	1日分 1,800円 (現行1,500円)	1日分 1,000円 (現行800円)
	1日分 1,800円 (現行1,500円)	1日分 1,000円 (現行800円)

ルス温泉スキー場のスキーリフト使用料金を次のように改正するなどの四案件が提案されました。

このほか、任期切れに伴う、収入役の選任、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任についての人事案件が提案されました。



添えを心からお願いたします。

●本年度目標額
登別市の募金目標額は六百三十三万円です。

募金は、街頭募金、戸別募金、大口、法人募金などいろいろな方法で行なわれています。

この運動の趣旨をよく理解し、積極的な支援と協力を重ねてお願いたします。

市長動静

8月29日～9月11日

▽8月29日 北海道社会貢献賞(地域医療功労者)受賞を喜び、皆川英真医師の来庁を受け、お祝いと激励の言葉を述べる。▽同30日 登別市都市計画審議会に出席。登別スイミングクラブが来庁、全国ス

の結果報告を受ける。▽同31日 登別東町永森サダさんから香典の一部を市民会館建設基金、社会福祉基金として寄贈を受ける。▽9月1日 公共施設および建設予定地現地調査を行なう。▽同2日 9月定例議会について幹部職員と打合せを行なう。▽同3日 北海道登別高等学校校体育館落成記念式典に出席、祝辞を述べる。▽同5日 幹部職員との事務打合せおよび諸問題の検討。▽同6日 市民会館建設基金として、日本料理研究会登別支部「登包会」から地獄まつり出店益金の寄贈を受ける。定例記者会見および課長会議に出席。▽同7日 株木建設機軸支店から図書購入費の寄贈を受ける。▽同8日 懸案事項について担当職員と打合せを行なう。▽同9日 富浦地区代表市民と面談、要望を聴取する。▽同10日 第三回市民まつり前夜祭パレードに参加、各地区をまわる。

市民の暮らしと 市政を結ぶ

世論調査を実施します



次代をになう子供たちのためにも、住みよい登別
に……老人憩の家「梅の木の家」で。

着実な歩みを続けてきた当市も昭和四十五年の市政施行を経て、今や五万三千六百人の人口を数え道内の中堅都市として成長しました。

現在市では、理想都市実現に向けての将来計画を人口十万人と想定して、総合基本構想と計画の見直しを行なっています。

今後、市がどのような施策を実施するのが望ましいのか、さらにこれまでの市政に対する評価などを含めて世論調査を実施することになりました。

市民のみならずのご協力をお願いします。

基礎資料に

市政の主人公は改めて言うまでもなく、市民一人一人です。

そして、市の仕事を行う市役所は主人公である市民みんなの幸福と繁栄をもたらすために市民ともども進められなければなりません。

最近の社会、経済情勢の変化は多様化する住民意識の中で、地方自治体の行財政運営にも重大な転機を迎えています。

こうした転換期を、市民とともに乗り切り、市民参加の市政を進

市政の現状評価は……

世論調査の中心主題は、①登別の市民像②市政への関心および市民参加③市内の施設、市の施策などについての評価④市政に対する要求度の四点で、調査項目は十六項目になっています。

質問の主な内容は、「登別市がどんな都市(魅力)をもった都市になったらよいと思うか」「広報のほりべつの印象・注文は」「理想の市役所はどんなイメージですか」「環境・公共施設・市の施策につ

いての現状評価と不満点は「広域行政をどう思いますか」などとなっています。

いずれも質問に対する回答が用意されており、その中から自分の考えに当てはまるものを選ぶスタイルになっています。

調査は十月初旬に

調査の対象者は、昭和三十二年七月十一日までに生まれた、市内に住む男・女で、六月十六日現在の選挙人名簿の有権者三万六千二百人の内一千人が対象で三十六人に一人の割合となっています。

海上保安学 大校 学生募集

▽受付期間 十月四日～十七日

▽採用予定数 大校学生約五十名 学校学生 水路約十五名、燈台約三十五名、通信約二十名、航海・機関・主計約百名

▽受験資格 昭和二十九年四月二日(大校)以降生まれの男子で、次のどれか一つに該当するもの。

◎高等学校を卒業した者、または昭和五十三年三月までに卒業見込みの者

◎高等専門学校第三学生を修了した者、または昭和五十三年三月までに修了見込みの者

◎大学入学資格検定に合格した者

▽試験日 第一次試験 大校学生十一月二十六・二十七日 学校学生十一月二十七日 第二次試験 昭和五十三年二月二・三日のうち第一次試験合格通知書で指定する日

▽試験地 第一次試験 小樽市、函館市、釧路市、旭川市 第二次試験 小樽市

▽申込み用紙請求先 人事院 北海道事務局 札幌市中央区大通西十丁目(〒060)；封筒の表に赤字で「海上請求」と書き六十円切手をはったあて先(郵便番号も)明記の返信用封筒を同封してください。

健康メモ

体を鍛えよう

みなさんの体は運動不足になっていませんか、筋肉の力は二十歳代を頂点として次第に衰えてゆきます。

しかし、三十歳代の後半以後の筋力の衰えはゆるやかで、訓練によつては三十歳代の筋力を高年にいたるまで維持することが出来ます。

筋肉は使われないとどんどんやせていきます。

たとえば風邪をひいて三日間ほど寝たきりしていると、病気が治って働こうとしても足に力が入らずフラつくということがあります。

たった三日間で筋肉はすでに衰えているのです。普段気づかずにいるあなたの筋肉はやせ衰えてはいませんか。

さて、これを防ぐには、全身の筋肉を、毎日使うことです。

◎ラジオ体操とかテレビ体操をする

◎なわ飛び、水泳、テニスなど好みに応じてする

◎一日四～五回歩く(はじめは五〇〇回から徐々に多くしてゆくようにする)

運動量の目安としては、手首のところで一分間数える脈搏が、普段より五十割から七十割増し位になるような運動がちょうどよいでしょう。

「広報のほりべつ」に

ご意見をお寄せください

ハガキにご意見、住所、氏名、年齢、職業をお書きのうえ(匿名も可)公聴広報課(〒059-1003 登別市中央町六丁目十一番地)へ。

市政に対する苦情、要望は市民相談所へ

市役所一階(電話5局2111内線315)

低気圧の影響で 第三回市民まつり

まつり気分は今一歩……

「心と心のかよいあうおまつり」を合言葉に、九月十・十一日の二日間におたまり開催された市民まつり。前夜祭ではどうにかもちこたえた曇り空も、本まつりには断続的な雨にたたられ、即売会などにはたくさんの人出が集まったものの、今一歩盛り上がりを欠いたおまつりとなり

ました。しかし、積極的な市民のみなさんの協力と、今回から各地区に分散した前夜祭では、多くの住民がつかけるなど多くの成果を収めて幕を閉じました。市民まつりの模様を写真で紹介しま



9月10日午後1時

祭典開幕を告げるパレード隊が市内を回り、市民まつりをPR。幌別地区では、富士橋商店街の若者50人にかつがれてジャンボ樽みこしが登場、道を狭くと練り歩き、祭典ムードをあおった。



熱演する出場者に、カサをさして声援。まつり広場の特設舞台（幌小グランド）

ご協力ありがとうございました

第三回市民まつりの実施につきましては、市民の皆様ならびに関係者の積極的なご理解とご協力により終了いたしましたことを衷心より感謝申し上げます。

折悪しく大型台風に伴う低気圧前線の影響で断続的な雨に見舞われ、本祭行事の一部中止のやむなきにいたり、この日のために準備された関係者および祭典を楽しみに訪れた市民の皆様のご期待に答えられなかったことは、主催者として本当に残念に存じます。

しかし、本年は民間を主体に実行委員会を編成し、地区行事を盛大に実施するなど、前回より一歩前進した運営ができましたことはそれなりに成果があったものと確信しています。

今後回を重ねて一層充実した楽しい市民まつりを実施するため、さらに内容・方法などを検討し、市民に定着した祭典にしたいと念願しています。

悪天候にもかかわらず、熱演をされた出場者の方々、カサをさしたまま舞台に声援を送ってくださいました方々に対しまして厚くお礼を申し上げますとともに、各位の今後のご協力を賜りますようお願いし、略儀ながら紙上をもってごあいさつ申し上げます。

- 名誉実行委員長
登別市長 田村仙一郎
実行委員長
商工会議所会頭 上田 邦男

大会のご案内

種目	期日	場所	時間	種別	参加料	申込先	申込期日	備考
バドミントン	10月23日	総合体育館	午前9時	一般男女・中学男女・高校男女・ママさん・親子・夫婦(いずれもダブルス)	一般・高校 400円	市役所 TEL 5-2111 内線 221 番	10月16日(日)	
バスケットボール	11月6日	〃	〃	一般男子	1,000円	温泉文所 TEL 4-2068	10月29日(土)	
水泳	11月20日	市民プール	午前10時	一般男女 } 自由型 個人メドレ 高校 } 平泳 背泳 バタフライ 中学 } 背泳 背泳 小学 } 背泳 背泳 一般男女初心者 } イヌカキ } 競泳 落 } ビート板 }	無料	温泉中 TEL 4-2069 炭木	11月10日(木)	
剣道	10月10日	青少年会館	午前9時	一般男子 } 3段以下 4・5段 6段以上 中学男女 } 高校男女 } 小学男女 } 4年生以下 5・6年生	無料	市役所 TEL 5-2111 内線 232 阿曾	9月30日(金)	すべて個人戦です。

※ 参加チーム数、人員に制限はございませんので、とどしし申込んで下さい。
※ 参加料は当日持参下さい。
※ 参加者は運動のできる服装、運動靴を準備して下さい。土足厳禁です。
※ その他くわしい内容については、申込先まで問い合わせて下さい。

九月十一日(日)の市民まつり
会場で行なわれた、抽せん券付た
ばこの抽せん会で、次のとおり当
せん番号が決まりました。
景品の引換えは、各小売店で行
なわれます。
ただし、特賞、一等、三等につ
いては小売店へ連絡していただき
後日、その小売店で景品と引換え
となります。
※引換え期限は、十一月末日まで
です。

たばこ抽せん券 当せん番号



ユーモアたっぷりのおどりを披露し、
市民を喜ばせた中央商店街のヘソおど
り—前夜祭の幌別地区パレード—

たばこ抽せん券の当選番号(昭和52年9月11日)

特賞 (2本) 家庭用品の 詰め合せ	3 組	9 9 3 4	2 (20本) ファミリー 10	各組 (54本)	組 通過 5	1 0 8	
1等 (10本) 家庭用品	1 組		3 (400本) ファミリー 10	各組 (53本)	組 通過 5	6 5	
	5 組						
	9 組		4 (2,000本) ファミリー 1	各組 (52本)	組 通過 5	9 8	
	13 組	1 4 4 0					
	16 組						
	17 組						
	18 組						
19 組							
20 組							



雨もなんのその。ドサンコに乗って
大はしゃぎの子供たち。



郷土芸能の鬨別獅子舞に見入る住民—
鬨別地区前夜祭—



手振りもあざやかに練り歩いた市民お
どり—登別地区前夜祭—

婦人スポーツ教室

▽期日・時間 昭和五十二年十月十九日から
昭和五十三年二月末まで、各コース毎週一回、
午前十時から十二時まで
▽種目・曜日
バレーボール 水曜日
卓球 木曜日
パドミントン 金曜日
卓球 金曜日
▽募集人員 各種目とも二十名
▽申し込み先・期限 総合体育館(電話⑤5
552)、十月十六日までに申し込みください
▽経費 二百円(飛ナワ代)
※参加者には、スポーツ傷害保険をあつせん
しますので、参加申し込みと同時に申し込み
ください。
くわしい内容は、体育館まで問い合せくだ
さい。

市民スポーツ

種 目	期 日	場 所	時 間	種 別	参 加 料	申 込 先	申 込 期 日	備 考
軟式庭球	10月8日	市営庭球場 (市民プール横)	8日 午後1時 30分 9日 午前9時	一般男子 A・Bクラス Aクラス=テニスをはじめて2年以 上の者(高校生含) Bクラス=上記以外の者 一般女子(高校生含) ママさん 中学男子・女子	無 料	富士幼稚園 TEL 5-9511 服部	10月6日(木)	
卓 球	10月9日	総合体育館	午前9時	一般男子 団体戦 個人戦 一般女子 高校男女 中学男女	団体 1,000円 個人 300円	市役所 TEL 5-2111 内線 319 伊藤	10月7日(金)	
ハンドボール	10月10日	◇	午前10時	一般男子(高校生含)	1,000円	TEL 5-2648 佐藤 正勝	10月9日(日)	
アーチェリー	10月10日	レークハウ ス射場	午後1時	一般男女(中高生含)	200円	当日会場で受付		道具のない方は お貸します。
バレーボール	10月16日	総合体育館	午前9時	一般男女(高校生含) 6人制 小学女子 9人制	一般男女 600円 小学女子 無料	市役所 TEL 5-2111 内線 228 大野	10月11日(火)	小学女子の申込 は青葉小TEL 5-1477 大畑

郷土史探訪

武士団による幌別郡の開拓(18)

片倉家をめぐって

明治二年、北海道地名の名付親として著名な松浦武四郎の建議により、蝦夷は「北海道」と改められ、道内に十一国八十六郡がおかれた、このとき幌別村、警別村、登別村の三村をもって「幌別郡」が生まれました。

この幌別郡に集団で最初の開拓のタワをおろしたのは、白石城主の片倉小十郎邦憲とその家臣らです。

彼らが幌別の開拓にのりだした理由の第一は、朝廷軍からみた片倉家は賊軍であり、新政府からみると反乱軍になるわけで、この始末をどうするかでありました。江戸幕府は鳥羽伏見の戦いにやぶれ江戸城は占領されましたが、東北では、金津藩を救うために仙台藩六十二万石を中心に、奥羽二十五藩が結束し、片倉家の白石城に集り、東京政府に対する北部政



幌別開拓記念碑
(刈田神社境内)

府を計画し、新政府軍に反抗しましたが、連戦連敗してついに降服しました。

賊軍となった仙台藩は、六十二万石から二十八万石と縮小され、幌別移住の片倉家は白石一万八千石、伊達市移住の亘理二万三千八百石(伊達邦成)、室蘭市石川町移住の角田二万一千四百石(石川邦光)の所領は没収されたものの、仙台藩直属の家臣なので身分は保障されました。

しかし、陪臣である片倉家らの家臣は「刀を捨てて百姓になる」より生きる道がなく、南部藩が白石の領地を引きとりにくると、家臣らは武士を捨てて南部藩支配の百姓になるか、新しい開拓地を求めて自分達の領土をつくりあげていくかのいずれかを選ぶことになったのでした。

江戸時代を通じて一国一城制のときに、仙台藩のみは特別二つの城をもつことができ、これが青葉城と白石城で、片倉家は録高では五番目ながら城もちとしての格式を誇っていたのであり、当然刀を捨てて他藩の百姓になれなかったのでした。

また新政府で困っていたことは江戸時代から「奥蝦夷地」と名付け、我が国の領土のようにみなしていた、樺太や千島にロシアの勢力が強大になってきたので、北海道を一刻も早く開拓して北方警備の拠点とする必要があり、そのためにも移民が必要でした。当時東京で、北海道への移民を求めたところ、約五百人の応募者がいましたが大半は浮浪者で役にたちませんし、諸国の農民はそれぞれの領土の所有で土地に縛られ農業移民を求められない事情にありました。

この時に、兵農の二面的立場をもつ土族移民や有力大名・大寺院などに所領を分け与え支配開拓させることにより国防の強化と開発をはかっていたので、片倉小十郎の北海道開拓嘆願書はただちに取上げられることになり、胆振国のうち幌別郡の支配を仰せつかったのでした。

片倉家の移住や開拓の状況などは、郷土史探訪四・五号に記載されているので重複はしますが、幌別への第三回めの移民六百名の人、鹿藩置県による政府の命令で札幌白石町と手稲町に変更移住したことで、現在札幌の白石と手稲の開拓の基礎を築いています。札幌白石よりも先鋒格は登別市で六百名が幌別に居住開拓していたら、明治期から今まで変わった登別があつたかもしれませぬ。

片倉家の移住者は、幌別場所としての漁業に期待していたのですが、商業資本を必要とすることや不慣れから、やはり農業が中心でした。明治三年に耕作経験者をよんで豆、麦、大根などをまいたところ生育が良かったので、早速耕地の造成にかかっています。

公民館講座

つけもの講習会

つけものは「ふるさとの味」おふくろの味」とも言われ、日本人のながい食生活から生まれ、いつも大切にされてきました。この講習会は、つけもの基本的な技術をマスターしていただくために開かれるものです。ぜひおさそいあって受講ください。

生花教室

▽講師 松下 侍叙香(池坊)
▽期日・時間 十月十七日から毎週月曜日(十回)十八時から二十時
▽場所 中央公民館
▽定員 三十名
▽受講料 無料
▽教材費 一回六百円程度(自己負担)
▽用具 おかき、剣山、ハサミ、雑布、筆記用具
▽申し込み先 市教育委員会社会教育課(電話②2111内線352)

手芸教室

リボンフラワー

▽期日 十月二十・二十一・二十二・二十四(計四回)
▽場所 警別公民館
▽用意する物 ハサミ、ペンチ、ボンド、テッシュペーパー
▽アメリカンフラワー

▽期日 十月二十五・二十六・二十七(計三回)
▽場所 富民児童館
▽用意する物 ハサミ、のさし、棒ばり(八ミリジャンボ)
※いずれも 講師より出浦あい子先生、時間10時~13時、定員11名、材料費1千円~2千円、申し込み警別支所(電話6局6111)

親子タコづくり教室

親子の共同作業で、創造の喜びと正しい遊び方を学ぶとともに、家庭教育を高め、親子でつくった「タコ」を大空に上げてみませんか。
▽講師 若草小教諭 橋本 襄氏
▽日時 十月十五日(土)午後一時三十分~午後四時 十月十六日



(日)午前九時~十二時
▽場所 登別市青少年会館(市立図書館横)
▽定員 五十名
▽対象 市内に住んでいる小学生とその親(親が参加できない場合は児童だけでも受け付けます)
▽材料費 一人三百円程度(当日、受領します)
▽用意する物 セメンダイン、のり、タコ糸、ナイフ、ハサミ、定規
▽申し込み先 市教育委員会社会教育課(電話②2111内線352)
▽その他 二日間で二種類の「タコ」を作ります。

目標は...

主人の魚拓を飾る額縁

むずかしいことばかりですけど、たった1枚の板が色々な形に生まれ変わる楽しみが何ともいえません。

いつまでも楽しめる趣味を持ちたいと思い、公民館講座の木彫教室に参加しました。今は木彫教室を卒業した人達に一般参加の方数人を加えた28人で木彫サークルを結成、



月2回例会が開かれています。

今まで状差し、ブローチを作りましたが、着色の濃淡や花模様彫り方などで、それぞれ個性豊かな物ばかり、手作りの味にしみじみとした充実感を味わっています。

最終的な目標は、主人の釣った魚を魚拓にとり、私の作った額縁に飾ることです。

木彫サークル

片倉町3丁目10 鴨川久美子(主婦)

十一月十一日：労働福祉センター

（日程）

〇申し込み先：市保健衛生課（電話②2111内線244）・最寄りの各支所。

〇申し込み期日：十月一日から検査前日まで。（ただし、各日も百名になり次第締め切らせていただきます。）

〇検査料：生活保護者：千五百円、受診当月七十歳以上の方：千五百円、国民健康保険加入者：六百円、社会保険など（前記以外）：二千円

〇対象者：満三十五歳以上の方（両親、近親者などにガンなどの疾病のある方は三十歳以上）

〇検査料：生活保護者：千五百円、受診当月七十歳以上の方：千五百円、国民健康保険加入者：六百円、社会保険など（前記以外）：二千円

〇申し込み期日：十月一日から検査前日まで。（ただし、各日も百名になり次第締め切らせていただきます。）

〇検査料：生活保護者：千五百円、受診当月七十歳以上の方：千五百円、国民健康保険加入者：六百円、社会保険など（前記以外）：二千円

〇申し込み期日：十月一日から検査前日まで。（ただし、各日も百名になり次第締め切らせていただきます。）

〇検査料：生活保護者：千五百円、受診当月七十歳以上の方：千五百円、国民健康保険加入者：六百円、社会保険など（前記以外）：二千円

〇申し込み期日：十月一日から検査前日まで。（ただし、各日も百名になり次第締め切らせていただきます。）

〇検査料：生活保護者：千五百円、受診当月七十歳以上の方：千五百円、国民健康保険加入者：六百円、社会保険など（前記以外）：二千円

〇申し込み期日：十月一日から検査前日まで。（ただし、各日も百名になり次第締め切らせていただきます。）

〇検査料：生活保護者：千五百円、受診当月七十歳以上の方：千五百円、国民健康保険加入者：六百円、社会保険など（前記以外）：二千円

〇申し込み期日：十月一日から検査前日まで。（ただし、各日も百名になり次第締め切らせていただきます。）

〇検査料：生活保護者：千五百円、受診当月七十歳以上の方：千五百円、国民健康保険加入者：六百円、社会保険など（前記以外）：二千円

〇申し込み期日：十月一日から検査前日まで。（ただし、各日も百名になり次第締め切らせていただきます。）

〇検査料：生活保護者：千五百円、受診当月七十歳以上の方：千五百円、国民健康保険加入者：六百円、社会保険など（前記以外）：二千円

〇申し込み期日：十月一日から検査前日まで。（ただし、各日も百名になり次第締め切らせていただきます。）

〇検査料：生活保護者：千五百円、受診当月七十歳以上の方：千五百円、国民健康保険加入者：六百円、社会保険など（前記以外）：二千円

〇申し込み期日：十月一日から検査前日まで。（ただし、各日も百名になり次第締め切らせていただきます。）

あて名はくわしく正確に

町名、番地までハッキリ書いてください。団地やアパートあては、「〇棟〇号」「〇荘〇号」まで必ずお書きください。（これらの記載がないため、誤配や迷子郵便になったりすることがしばしばあります）



胃の集団検診

胃の集団検診を次のとおり行ないます。各日も百名になり次第締め切らせていただきますので、希望者は早めに申し込みください。

十一月十二日：鷺別公民館
十一月十三日：労働福祉センター
十一月十四日：登別公民館
※いずれも受付時間：午前七時三十分～九時三十分

無料調停相談

裁判所では、毎年十月一日の「法の日」にちなみ、同日から一週間を「法の日週間」と定め、法の尊重、基本的人権の擁護、社会秩序の確立の趣旨徹底を図る行事を全国各地で行なっています。

土地、建物、金銭の貸借、売買、交通事故等による損害賠償、夫婦親子間の紛争、相続など日常生活からむろろいなるなもめごとを、円満に解決するためにあるのが調停制度です。

このような問題や調停申し立ての手続きについての相談を、次により行ないますので、お気軽にお越しください。

〇日時：十月六日（木曜日）
十時三十分～十五時まで
〇場所：市役所二号会議室
〇相談員：札幌弁護士会室蘭支部
▽弁護士：札幌弁護士会室蘭支部

赤ちゃん検診

●内容 診察、計測、栄養指導、生活指導
●用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ、バスタオル ※終了時間は午後3時頃の子です。
〈日程〉 鷺別公民館=10月18日 受付12時～12時30分、鷺別支所管轄の昭和52年7月出生児
中央公民館=10月19日 受付12時～12時30分、本庁管轄の昭和52年7月出生児 ※登別・登別温泉地区は11月に実施します（7月、8月の出生児）

健康相談

●実施日・場所 ●10月6日…中央公民館
●10月11日…鷺別公民館 ●10月20日…商工会館 ●10月24日…登別公民館
●受付時間 ●午前…10時～10時30分 ●午後…13時～13時30分 ●内容 ●午前…成人病相談、妊婦相談、家族計画相談（1歳以上）
●午後…赤ちゃん相談（6カ月児・9カ月児）、その他相談のある乳児（1歳未満）
●用意するもの 母子健康手帳、バスタオル、換えオムツ
※午後の部の終了時間は3時頃になります。

家庭児童・母子相談

●相談日 10月20日（定例＝毎月第3木曜日）
●場所 中央公民館和室 ●受付 午後1時～3時30分 ●相談内容 子供のしつけ、知能のおくれ、非行相談、視聴覚障害、言語障害、心身障害、児童施設入所、母と子のなやみ、その他相談 ※相談希望者は、事前に福祉事務所保護課にご連絡ください。（電話②2111内線334）

行政相談

△調停委員 札幌地方裁判所室蘭支部・札幌家庭裁判所室蘭支部・室蘭簡易裁判所
今年十月十六日から二十二日まで、行政相談週間です。
行政相談は、国の仕事についてテキヤベキやってもらえない、どうしてよいかわからない、不親切なめにあつた、どうにかしてほしい、どうしたらよいと思う、役所のことの苦情を受け付けます。
たとえば、私たちの生活の中で恩給や年金、国税、郵便、道路、河川、生活保護等についての苦情を行政相談委員にご相談いただければ、親身になってお世話いたします。直接口頭でも、簡単なものは手紙、電話でも結構です。
市では、行政相談週間中、次により合同行政相談所を開設いたします。当日は、町内会役員の方々が皆さまの意見を取りまとめ

られることになっていきますが、個人でもかまいません。お気軽にご相談におこしください。
〇日時 十月十九日（水曜日）
午後一時～午後四時
〇場所 中央公民館二階ホール
〇参加行政機関
郵便局、国鉄、電報電話局、土木現業所、警察署、開発建設部
〇行政相談委員 高野定治（住所 市内富士町一丁目十九番地二、電話五局二六四九）
△寄贈ありがとうございます
△社会福祉協議会（愛情銀行）
△現金寄贈 山名建設様、匿名二件
△物品寄贈 有坂了孝様、中央バス中登別寮様、今井様、古切手寄贈 国立病院患者一同様、中島葉勇様、奥村ヘル様、防衛庁弘済会観別事業所様、森隆様、室蘭警察所様
△福祉基金 △皆川英貞様、佐藤重喜様、佐々木鶴治様、丸栄そうごストア、ジビングセンターサンニー様、永森サダコ様、及川実様

1,000万人 ラジオ体操祭に参加を

市民の間にも愛好者の多いNHKのラジオ体操は、昭和3年につくられました。このたび北海道ラジオ体操連盟などの主催により、次のとおり1,000万人ラジオ体操が開催されることになり、市民のみならずの参加を呼びかけています。

△日時 10月9日（日）午前9時
△場所 登別小学校グラウンド（雨天昼休）
△主催 北海道ラジオ体操連盟、北海道郵政局、NHK北海道本部
△後援 登別市、登別市教育委員会

予防接種の日程は 9月15日号をご覧ください